



[自己紹介]

那賀 早央里

所属：財政課

着任：令和6年4月1日～

出身：埼玉県美里町

秩父市の印象

自然が豊かでゆったりと時間が流れる街。
不便すぎない“ちょうどよさ”が心地いいです。

どんな地域おこしがしたいか

ふるさと納税を通して、秩父市のヒト・モノ・コトの
価値を届け、事業者の活性化を促進したい。

活動目標

- ・ 秩父市の地域資源を活かした返礼品の開発
 - ・ 効果的な情報発信と事業者の認知拡大・活性化を図る
-

活動内容

- ・ 返礼品の開拓やブラッシュアップ
- ・ 返礼品提供事業者にフォーカスしたプロモーション活動
(ニュースレターの定期発行)と事業者のサポート業務
- ・ 返礼品の画像加工、チラシ作成(イベント等で配布)
- ・ ふるさと納税の問い合わせ対応
- ・ ふるさと納税に関する各種事務



返礼品開拓

1年目は返礼品開拓を中心に市内事業者を訪問し、担当職員と連携しながら約200件の返礼品を新たに登録しました。「札所一番宿坊体験」や「そば打ち体験」といった秩父の文化や食の魅力を体験できる新たな体験型返礼品の開拓にも取り組みました。



「ひろがる、ちちぶ」の発行

返礼品提供事業者を紹介するニュースレターを発行中です。事業者の想いやこだわりを取材・編集し、発信しています。寄附者から「秩父市のことを知ることができて嬉しい」「興味深く拝読しました」といった声も寄せられ、情報発信の効果を実感しています！



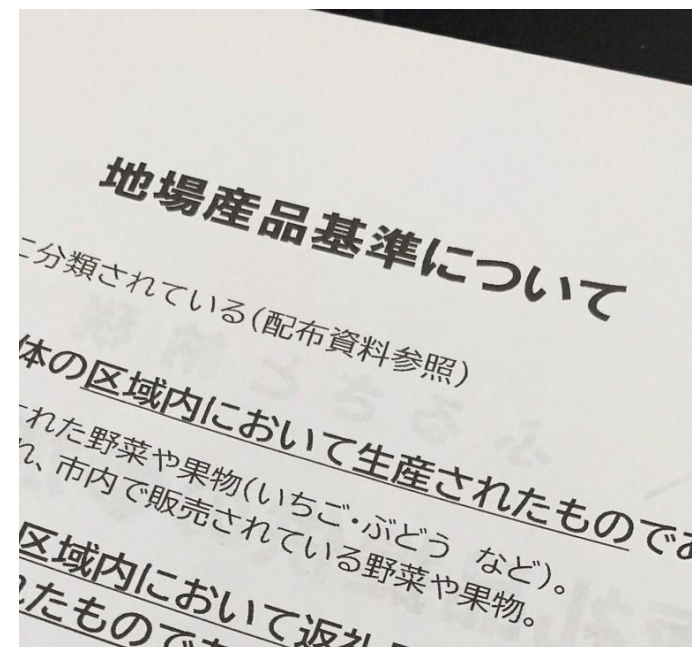
ふるさと納税説明会

新規事業者向けの説明会で講師を務めました。制度理解の促進と新規参入の後押しに繋がる機会となりました。今後、さらに厳格化される地場産品基準を踏まえ、返礼品登録の適正な運用を図るとともに、事業者に寄り添った活動を続けていきたいです。

ここに注目！

・返礼品の地場産品基準

ふるさと納税の返礼品には「その土地ならではの品」であることを定めた【地場産品基準】があります。地域内で生産・加工されたものか、地域資源との関連性があるかなどが判断基準となり、年々厳格化されています。制度への理解を深めながら、適正な運用を心がけています。



今後の活動

ニュースレター「ひろがる、ちちぶ」を最終的に一冊の冊子としてまとめ、事業者一人ひとりの歩みや想いを記録として残したいと考えています。さらに、秩父の特産品や事業者の取り組みをより多くの方に届けるために、都内での「マーケットイベント」の開催にも挑戦したいと思います。

また、3月に新規返礼品として「太田のお米(彩のきずな)」が登録されました。秩父市初のお米の返礼品です。今後は新米の時期に向けて、米袋のデザイン制作にも携わる予定です。さらに、米粉を活用したお菓子の開発にも取り組み、商品の広がり新たな価値の創出へと繋げていきたいと考えています。